

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会

【総括】

本会は第2次地域福祉活動計画の定める基本理念を『みんなでつくる いきいきと暮らせる 愛のまち たかはし ～ささえあい・たすけあいのまちづくり～』と定め、地域福祉を推進する中核的な団体として、住民主体の理念に基づき、地域住民や各地区社協とともに、地域の支え合いにより、行政ではカバーできない地域福祉の課題解決に取り組んでいます。

しかし、高梁市の人口は減少に歯止めがかからず、一層少子高齢化が進行するとともに、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しています。また、地域社会を支える若年層の減少と人間関係の希薄化が顕著であり、地域課題の解決も年々難しくなっています。

さらに、コロナ禍の収束が見えない状況下、地域経済活動も低迷が続き、生活困窮世帯が増加しています。このような中、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指し事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業を中止せざるを得ない状況にありました。

第2次地域福祉活動計画に定める4つの基本目標の取組み

基本目標1 「地域で活躍できる人づくり」

コロナ禍を考慮した方式により「夏のボランティア体験事業」を実施しました。

教育機関等との連携によりボランティア体験を通じて、社会福祉やボランティア活動についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いの中から新しい発見や「ともに生きていく」視点を育みました。

基本目標2 「手と手をつなぐ地域づくり」

地区社協との連携を進め、各地区の実情に合った住民同士の共助力による地域づくりに努めました。また、ふれあいサロン事業の支援など安心していきいきと暮らせる地域づくりを展開しました。

基本目標3 「安心して暮らせる環境づくり」

在宅生活を支える各種生活支援サービスを高梁市から受託し事業実施しました。

また、相談支援課内に権利擁護センターを開設、法人後見事業も開始し、判断能力が不十分でも安心して地域で暮らせる支援体制を整えました。

基本目標4 「地域福祉活動を支える体制づくり」

本会の活動PRのため「ふれあい福祉」を年6回発行し全世帯に配布しました。

また、本会の独自事業の原資とするため、賛助会員会費等の自主財源確保に努めました。

(執行体制)

1. 役員等 (令和4年3月31日現在)

役職名	人 数
会 長	1
副会長	2
理 事	12 ※注1
監 事	2
評議員	25

※注1 会長・副会長含む

2. 職員 (令和4年3月31日現在)

所 属	職員数	内 訳	
		正 職	臨時職員
事務局	2	2	0
総務課	8	5 ※注1	3
地域福祉課	8	8	0
相談支援課	5	5	0
介護保険課	2	2	0
居宅介護支援事業所たかはし	2	2	0
訪問介護事業所(高梁西サテライト)	5	5(3)	0 ※注2
有漢支所	2	1	1
成羽支所	4	2	2
グループホームささゆり苑	13	3	10
川上支所	2	1	1
川上デイサービスセンター	9	3	6
備中支所	3	2	1
居宅介護支援事業所たかはし西	5	5	0
備中デイサービスセンター	11	5	6
合 計	81	51	30

※注1 市への派遣職員 1人含む

※注2 訪問介護事業所 登録ヘルパー 20人

法人運営事業

1 法人運営事業

予算額 114,258千円

執行額 80,279,438円 執行率 70.3%

(1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催

①正副会長会：3回（うち書面決議1回）

②理事会：5回（うち書面決議1回）

③評議員会：2回

④各種委員会：8回

（総務企画委員会：2回、社会福祉委員会：2回、評議員選任・解任委員会：1回、表彰選考委員会：2回（うち書面決議1回）、苦情解決第三者委員会：1回）

⑤支会会議：9回

(2) 法人の健全運営のための監査

①監事による監査：2回

(3) 会員制度の広報、普及による自主財源の確保

本会の自主財源は、賛助会員会費、寄附金及び介護保険事業の収入であるが、寄附金収入は減少傾向にあり、介護保険事業は利用者及び介護報酬の減少などにより赤字の状態である。

このため、相互扶助（ささえあい・たすけあい）の意識の高揚を図るとともに、市民参加による地域福祉活動の維持充実に努めるため、本会が行う事業の周知を行うとともに、法人会会員に対し加入依頼を行うなど新規会員の獲得に努めた。

①普通会員、ふるさと会員、法人会員、特別会員

<目標> 普通会員数 6,750件

<実績>

区 分	本年度		前年度	
	人数・件数	金 額	人数・件数	金 額
普通会員	6,568人	6,885,000円	6,641人	6,976,000円
法人会員	315件	1,028,000円	303件	1,009,000円
ふるさと会員	95人	339,000円	99人	336,000円
特別会員	7人	35,000円	7人	35,000円
合 計	6,985人(件)	8,287,000円	7,050人(件)	8,356,000円

(4) 役職員の資質向上のための研修の実施

計画的な研修の実施により職員の意識改革及び育成に努めた。

- ①計画的な職員の外部研修 6回(延20人)
- ②内部研修 1回

(5) 事務効率向上のための事務改善

庁内グループウェアを改修し、事務効率の向上化及び事務手続きの省力化に努めた。

2 企画広報事業

予算額 1,800千円

執行額 1,770,686円 執行率 98.4%

広報紙、ホームページ等の活用により、社協活動や最新の福祉情報の提供に努めた。また、地域社会福祉の向上に顕著な功績があった個人、団体に対し表彰を行った。

(1) 企画広報事業

①「ふれあい福祉」の発行(年6回奇数月)

<目標> 年6回奇数月に発行

<実績>

発行月	主な内容
令和3年5月 (第97号)	令和3年度事業計画・予算、権利擁護センター開設、赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業、私の町のふくし人 vol.27、お知らせ、寄附者一覧
令和3年7月 (第98号)	令和2年度決算報告および実施事業、令和2年度会費・寄附財源事業、新役員・評議員紹介、令和3年度一般募金助成金交付、私の町のふくし人 vol.28、お知らせ、寄附者一覧
令和3年9月 (第99号)	夏のボランティア体験事業、活動報告、法人・ふるさと会員一覧、お知らせ、寄附者一覧
令和3年11月 (第100号)	ふれあい福祉100号記念特集、赤い羽根募金、法人・ふるさと会員一覧、秋の各種表彰、災害ボランティア養成講座、敬老会開催団体報告、地域活動報告・お知らせ、寄附者一覧
令和4年1月 (第101号)	新年のご挨拶、災害ネットワーク協定締結式、赤い羽根共同募金、一般募金助成事業、活動報告、お知らせ、寄附者一覧
令和4年3月 (第102号)	赤い羽根共同募金、活動報告、シルバー人材センター、お知らせ等、寄附者一覧

②ホームページの更新、充実

③新聞やキビケーブルテレビの活用等による広報強化

(2) 社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人、団体に対し表彰を行った。

区 分	本年度	前年度
個 人	9 人	4 人
団 体	1 団体	1 団体

<個人の部>

表彰内容（所属団体名）	氏 名
社会福祉功労（落合地区）	佐 藤 昌 弘
社会福祉功労（市社協理事）	渡 邊 俊 雄
社会福祉功労（市社協評議員）	森 定 寛
社会福祉功労（市社協評議員）	堀 博 志
社会福祉功労（市社協評議員）	中 迫 貞 子
社会福祉功労（巨瀬地区）	上 森 俊 典
社会福祉施設功労（特別養護老人ホームグリーンヒル順正）	草 野 貴 史
社会福祉施設功労（特別養護老人ホームグリーンヒル順正）	畑 峰 子
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	本 城 啓 子

<団体の部>

表彰内容	団 体 名
福祉ボランティア活動功労	A B Cハッピー

3 地域における公益的な取組

(1) 高梁市社会福祉法人連絡会への参画

- ・ 設立日：平成29年4月11日
- ・ 加入社会福祉法人：11法人

①生活困窮者緊急一時支援事業（通称 ライフサポート事業）

生活困窮者へ一定期間最低限の食料等の提供・・・延94件(実人数43人)

②引きこもりや障害者等の社会参加支援事業（通称 お仕事体験事業）

引きこもりや障害者、未就労の生活困窮者を対象に社会参加等の体験機会の提供

③災害時避難場所提供事業（通称 避難場所提供事業）

非常災害時に避難困難な高齢者や障害者等に一時避難場所を提供

④公開講座の開催

地域における公益的な取組として、地域のニーズに即した内容で開催

(2) 社会福祉協議会単独での公益的な取組

- ①日常生活用具貸出事業（8ページ参照）
- ②災害等見舞金支援事業（9ページ参照）
- ③福祉出前講座（11ページ参照）

地域福祉事業

1 地域福祉活動事業

予算額 24,428千円

執行額 21,346,445円 執行率 87.4%

(1) 地域福祉活動計画

①地域福祉活動計画の推進

○ 計画の理解と普及

計画が目指す方向性や取り組みについて、広報紙やホームページ等を通じて周知した。

また、「地域の困りごと」や「こんなサービスがあったらいいな」といったご意見・ご要望を広く地域住民から募り、今後の事業推進の参考にするため「ご意見箱」を本所・支所、各地域市民センターに設置した。

○ 計画の進捗管理と評価

内部評価報告書を作成し、事業の進捗管理及び評価を行い社会福祉委員に報告をした。

○ 事業成果の公表

各事業の進捗状況や事業成果について、広報紙等で公表し、事業の透明性を図った。

(2) ふれあいのまちづくり事業

①福祉委員活動支援

小地域での福祉活動の推進を図るため、各町内会へ福祉委員の設置を促進し、福祉委員活動を支援した。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
町内会数	386	33	92	97	83	691	692
福祉委員数	389	33	91	97	84	694	696

○ 活動支援

- ・「福祉委員活動のてびき」の周知と役割の明確化
- ・福祉委員証の発行
- ・ボランティア活動保険への加入
- ・福祉委員活動費の支給

○ 福祉委員連絡協議会の開催

福祉委員連絡会相互の連携により、総合的かつ効果的に地域福祉活動を行うため情報交換を行った。

区 分		本年度	前年度
会議	開催日	令和3年8月10日(金)	—
	場 所	高梁総合福祉センター	—
	出席者	13人	—

※2回目の会議を2月に予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

②地区社会福祉協議会の活動支援

地域福祉推進の基礎組織である、各地区社会福祉協議会の活動を支援した。

区 分	本年度	前年度
交付地区社協数	14地区	14地区
交 付 金 額	4,364,000円	3,911,000円

○ 地区社会福祉協議会会長会の開催

14地区社会福祉協議会の意見交換の場を設け、情報提供等を行い、地域福祉活動の活性化を図った。

区 分		本年度	前年度
意見 交換会	開催日	令和3年10月28日(木)	—
	場 所	高梁総合福祉センター	—
	出席者	14人	—

○ ご近所見守りネット事業の推進

地区社協構成員が定期的集まる機会をつくり、地域に合った見守り活動を推進した。

○ お助け隊派遣事業の推進

地域住民が相互に協力し、身近な困りごとの解決に向けた取り組みができるよう支援した。

③ふれあい福祉のつどい

市と共催事業であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 福祉活動助成事業

①ふれあいサロン事業

地域住民が身近な集会所等でお互いを尊重し、安心していきいきと暮らせる地域づくりを行うふれあいサロンに対し助成を行った。

令和3年度については、交付決定した107団体のうち2団体が、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため実施されなかった。

○ ふれあいサロン設置数

<目標> 助成件数 140件

<実績>

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
実施団体	55	9	12	18	11	105	111
内1~5回実施	3	0	0	0	0	3	5
交付額(円)	1,590,000	270,000	360,000	540,000	330,000	3,090,000	3,222,500

○ リーダー育成

事業の充実・運営リーダーを育成するため、12月にサロン代表者交流会を開催した。

区 分		本年度	前年度
交流会	開催日	令和3年12月10日(金)	—
	場 所	高梁総合文化会館	—
	参加者	36人	—

②高齢者支援事業（敬老祝い品贈呈事業）

88歳（米寿）を迎えられた人に、敬老の日を中心に肖像写真を贈呈した。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
該当者数	174	26	46	37	47	330	368
贈呈者数	124	21	40	29	35	249	269
贈 呈 率	71.3%	80.8%	87.0%	78.4%	74.5%	75.5%	73.1%

③障がい者（児）支援事業

活動の活性化を図るため、障害者スポーツ大会等の活動費を助成した。

区 分	本年度	前年度
障害者スポーツ大会等助成金支給件数	1	0

④子育て支援事業

子育て家庭の親子などが、多様な活動を通じて、子育てを楽しみながら仲間づくりや互いに支え合う仕組みづくりを行うサロンに対し助成を行った。

区 分	本年度	前年度
子育てサロン助成金支給件数	1	1

⑤日常生活用具、車両貸出事業

○ 日常生活用具貸出事業

虚弱な高齢者等へ生活補助用具（特殊ベッド、車椅子）を無料で短期間貸し出した。なお、特殊ベッドは老朽化に伴い、1台更新した。

区 分	本年度			前年度
	保有台数	延貸出件数	貸出可能台数	延貸出件数
特殊ベッド	12	21	6	38
車椅子	34	35	32	31

○ 車両貸出

福祉団体等の活動を支援するため自動車の貸し出しを行った。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
貸出件数	13	0	0	0	0	13	9
内カソ団体	1	0	0	0	0	1	0

(4) 災害福祉事業

①災害等見舞金支給事業

自然災害または火災により、現に居住している住宅等の建物及び人的被害を受けた世帯に対し、見舞金を支給した。

区 分	本年度	前年度
災害見舞金支給件数	0	1
火災見舞金支給件数	(高梁 1、川上 1、備中 1) 3	4
死亡弔慰金支給件数	(川上) 1	0

(5) 一般募金助成事業

地域で活動する福祉・ボランティア団体等へ運営費・活動費を公募方式により45団体へ助成を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4団体が実施されなかった。また、今年度より歳末たすけあい支援事業と統合した。

区 分	本年度		前年度	
	件数	金 額	件数	金 額
高齢者、身体障害者等、児童活動助成金	14	390,000 円	11	331,000 円
ボランティア団体活動助成金	4	89,000 円	4	179,000 円
地域福祉活動助成金	14	2,668,000 円	14	1,568,000 円
歳末たすけあい活動団体助成金	9	442,000 円	5	※139,000 円
計	41	3,589,000 円	34	2,078,000 円

※前年度は歳末たすけあい支援事業

(6) ボランティアセンター活動事業

①ボランティアセンター事業

ボランティアに関する情報を発信し、ボランティアの登録促進を行った。

また、活動費や保険料を助成するとともに、ボランティアの育成を図るため養成講座を開催した。

○ 福祉団体、ボランティア団体等活動助成

区 分	本年度	前年度
福 祉 団 体 数	0	0
ボランティアド数	2	3
計	2	3

○ ボランティア活動保険料助成

ボランティア保険料（150円/1人）を助成した。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
団 体 数	19	1	6	8	2	52	37
助成人数	1,109	17	98	31	54	1,309	1,264

○ ボランティアセンター登録

<目標> 団体 100団体 個人 26人

<実績>

登 録 状 況	種 別	本年度	前年度
	個 人	24人	24人
災 害 個 人	71人	68人	
団 体	101団体 (2,358人) (内訳) V○団体 94団体 (1,242人) 協力団体 7団体 (1,116人)	95団体 (2,650人) (内訳) V○団体 88団体 (1,411人) 協力団体 7団体 (1,239人)	
相 談 ・ 幹 旋	相 談 件 数	3件	5件
	内 幹 旋 件 数	0件	2件

○ 研修会・養成講座等の開催

コミュニティカフェを運営するボランティアの育成を図るため、外部講師を招き、研修会を1月に開催した。

区 分	本年度	前年度	
研 修 会	開 催 日	令和4年1月28日(金)	—
	場 所	高梁総合福祉センター	—
	参 加 者	21人	—

②児童、生徒のボランティア活動普及事業

社会福祉についての理解と関心を高めるため、市内の小・中学校をボランティア協力校に指定し、活動を学んだ。

・指定校5校

〔 小学校：4校（巨瀬、宇治、落合、福地）
 中学校：1校（高梁東）

③夏のボランティア体験事業

令和3年度は、中学生がボランティア活動を身近なものとして感じることができるようになるとともに、リサイクル活動を通してSDGsを考える契機となるよう計画した。

体験事業では、集めたペットボトルキャップでアートの制作と医療従事者や地域の人へ向けたメッセージカードを作成した。

なお、集められたペットボトルキャップ50kgは発展途上国の子どもたちのワクチン接種約40人分として寄付された。

区 分		本年度	前年度
体験活動	開催日	8月2日(月)～8月5日(金)	—
	場 所	市内5か所	—
	参加者	137人	—

④福祉出前講座

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等との連携を図り、市内の小・中学校、高等学校や各地域に出向き、福祉に関する講座を行った。

<目標> 30回

<実績>

区 分	本年度	前年度
高齢者疑似体験	3	6
車いす体験	3	6
手話体験	2	5
アイマスク体験	1	2
その他（福祉車両操作体験）	3	4
計	12	23

⑤災害ボランティアセンター事業

○ 災害ボランティアの登録・育成

災害ボランティアの登録・育成を目的に災害ボランティア養成講座（基礎編）を開催した。

また、災害ボランティア養成講座（応用編）を開催し、災害及び災害ボランティア活動に関する関連知識の習得や意識の共有を図った。

○ 災害ボランティアセンターの基盤整備

災害に関する写真展を開催し、住民の防災意識の向上及び災害ボランティアセンターの役割の周知を図った。

区 分		本年度
養成講座 (基礎編)	開催日	令和3年10月31日(日)
	場 所	高梁総合福祉センター
	参加者	26人
養成講座 (応用編)	開催日	令和4年2月19日(土)
	場 所	高梁総合福祉センター
	参加者	17人
写 真 展	開催日	6月21日(月)～7月30日(金)
	場 所	高梁総合福祉センター
	入場者	132人

(7) 地域福祉活動基金

基金の果実をボランティア活動事業に繰り出し、事業を実施した。

(8) 団体支援事業

①老人クラブ活動支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの自主的活動を支援した。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
会 員 数	1,408	210	837	600	420	3,475	3,694
単位クラブ数	15	8	16	9	12	60	61

②遺族連合会事務支援

高梁市遺族連合会の事務支援を行った。

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
会 員 数	499	66	164	94	111	934	987

2 在宅福祉サービス事業【市受託事業】

予算額 131,633千円

執行額 128,352,748円 執行率 97.5%

(1) 敬老事業

敬老会を行った団体に対し助成を行った。

区 分	高 梁	有 漢	成 羽	川 上	備 中	本年度	前年度
交付団体数	9	0	3	1	9	22	25
75歳以上人数	110	0	64	7	243	424	312
88歳人数	8	0	9	1	26	44	33
延対象人数	118	0	73	8	269	468	345
助成額(円)	177,000	0	109,500	12,000	403,500	702,000	517,500

(2) 高梁市福祉移送サービス事業

高齢者や障害者等の外出及び社会参加の促進を図るため、運転ボランティアがドア・ツー・ドアによる移送サービスを提供した。

<目標> 延利用者数 5,162人 運転ボランティア数 75人

<実績>

区 分	高 梁	有 漢	成 羽	川 上	備 中	本年度	前年度
移送車両数	7	3	3	3	4	20	23
運転ボランティア数	18	5	9	18	16	66	68
会 員 数	153	60	59	65	68	405	381
一般移送(延)	504	368	132	221	225	1,450	1,402
透析移送(延)	1,286	0	732	457	348	2,823	2,415
難病移送(延)	15	8	0	0	54	77	78
移送利用計	1,805	376	864	678	627	4,350	3,895

①市内一体的な運行管理の検討

市内一体的なサービス提供体制の整備を検討し、効率的な運行管理を行った。

②車両の更新

軽四車両1台の更新を行った。

③講習会の開催

高梁警察署員を講師として招き、安全運転に関する講習会を開催し、運転手の安全運転への意識の向上を図った。

区 分	高 梁	有 漢	成 羽	川 上	備 中	本年度	前年度
受講対象運転者数	18	5	9	18	16	66	68
受 講 者	講 習 会	17	4	9	13	16	57
	運転適性検査	0	0	0	0	0	0
	計	17	4	9	13	16	57

(3) ちょこっとお助けサービス事業

日常生活を営むために援助が必要な高齢者等に、屋内の掃除、家まわりの手入れなどのサービスを提供した。

<目標>延利用人数 290人

<実績>

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
利用対象者数	76	4	22	6	7	115	114
利用実人数	21	0	2	0	3	26	27
延利用人数	211	0	16	0	35	262	279

○ サービス提供体制の検討

お助け隊派遣事業及び社会福祉協議会が実施する生活支援サービス等を踏まえ、サービス提供体制の在り方を市と協議した。

(4) 高梁市健やか高齢者生きがい支援事業

介護予防、健康状態の確認や趣味活動のほか、保健指導を取り入れたサービスを提供するとともに、利用者の自立性を尊重し、指定管理施設の適切な管理運営に努めた。

① デイサービスの実施

- ・ミニデイサービス：旧高梁地区の各地域市民センター等で実施
- ・生きがい（対策）デイサービス：川上いきいき交流館で実施
- ・生きがいデイサービス：備中高齢者生活福祉センターで実施

<目標>年間延利用人数

ミニデイサービス（旧高梁）	2,600人
生きがい（対策）デイサービス（川上）	} 2,500人
生きがいデイサービス（備中）	

<実績>

区 分	高梁	川上	備中	本年度	前年度
実施回数	65	133	38	236	215
利用延人数	1,281	1,310	309	2,900	2,950

※旧高梁市で行っているミニデイサービスについて、5月初旬から6月中は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

※生きがい（対策）デイサービス（川上）も5月中旬から6月中旬、また、9月初旬は感染拡大防止のため中止した。

② 指定管理施設の運営管理

- ・川上いきいき交流館、備中高齢者生活福祉センター

(5) 高梁市給食サービス事業

調理が困難な高齢者や障害者等へ宅配による食事の提供を行い、食生活の安定を図るとともに、宅配時に配食ボランティアによる安否確認を行った。

<目標>・延配食数 33,000食 ・年間利用実人数 360人
・配食ボランティア数 570人

<実績>

区 分	高梁 週4回 月火木土	有漢 週1回 水	成羽 週3回 月水金	川上 週3回 月水金	備中 週1回 木	本年度	前年度
利用実人数	163	16	38	36	42	295	330
延食数	17,489	579	3,738	2,971	1,671	26,448	29,100
配食ボランティア数	296	49	25	142	54	566	628

(6) 高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な高齢者等の世帯に対し、寝具の丸洗い、消毒乾燥を行った。(年間1回、7月実施)

<目標>利用人数 381人

<実績>

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
利用実人数	104	14	28	19	18	183	183

(7) 生活支援体制整備事業

市内14地区の地区社会福祉協議会に設置した「第2層協議体」に生活支援コーディネーターを配置し、資源開発、ネットワーク構築等の活動を通じて各地区の実情に合ったサービス提供の整備を行った。

①小地域福祉活動計画の策定推進

地区社会福祉協議会が実施する事業を計画的に推進するとともに、地域住民へ周知し活動への参画を図るため、小地域福祉活動計画の策定を推進した。

・暮らし安心ふれあいプラン策定(中井地区)

(8) 保健センター事業

川上保健センターの維持管理を行った。

区 分	本年度		前年度	
	件数	延利用者数	件数	延利用者数
健康相談、機能訓練等提供	35	246	36	294
子育て支援等交流事業実施	14	126	22	129
その他各種団体等	38	298	48	358
合 計	87	670	106	781

3 相談支援事業

予算額 40,422千円

執行額 36,392,196円 執行率 90.0%

(1) 高梁市権利擁護センター事業【市受託事業】

①権利擁護相談

関係機関やアドバイザーと連携し、権利擁護に関する相談に応じた。

・相談延件数：278件

相談内容内訳 (複数回答)	成年後見制度	181	消費者被害	3
	虐待・DV	15	医療・看護	18
	介護問題	4	生活全般	43
	金銭問題	31	市民後見人活動	28
	入所入院問題	14	その他	19

②各種会議

高梁市における権利擁護支援体制の検討、困難事案の支援方針の検討、成年後見制度の利用に伴う受任候補者の検討を行った。

会議名	検討ケース／実施回数
運営会議	2回
支援検討会議	12件／5回
受任者調整会議	12件／4回

③たかはし福祉・法律なんでも相談会

誰もが気軽に相談できる機会を提供し、福祉や法律に関わる相談に応じた。

開催日・場所		相談者数
第1回	7月10日 備中地域局	11人
第2回	9月11日 高梁総合福祉センター	8人
第3回	11月27日 有漢保健センター	5人
第4回	2月19日 高梁総合福祉センター	9人

(相談内訳)

区分	件数	区分	件数
成年後見制度	5	消費者被害	1
相続	7	借金	1
財産管理	2	年金	2
不動産	6	高齢者	3
登記	5	障害者	5
契約	5	その他	13

④権利擁護ミニ講座

たかはし福祉・法律なんでも相談会に合わせて開催した。

開催日・場所	参加者数	内 容
7月10日 備中地域局	17人	講演「土地境界問題を次世代に残さない ために」 講師：土地家屋調査士 山縣 始
11月27日 有漢保健センター	13人	講演「知っておきたい！使いやすくなっ た遺言と相続登記義務化」 講師：司法書士 崎山 晃史

⑤市民後見人の養成

社会貢献に意欲と熱意のある市民の中から成年後見に関する知識を身につけ市民後見人として活動できる人を養成するため、養成研修の受講者を募集したが、申込が無かった。

⑥市民後見人情報交換会

市民後見人の資質向上、適正な後見活動ができることを目指し、市民後見人同士の情報交換を中心に事例検討や勉強会を行った。

市民後見人登録者・・・13人（内後見人等受任者10人）

実施回数	5回
市民後見人参加延人数	40人

⑦成年後見人等の相談会

親族後見人等が後見業務を行う中での不安や悩みを話せる場を設け、後見業務の負担軽減および適正な活動を実施することを目的に、専門職による無料相談会を計画したが、申込が無かった。

(2) 法人後見事業

認知症、知的・精神障害などで判断能力が不十分な人のため、本会が成年後見人、保佐人、補助人となり、財産管理及び身上保護を行い、その権利を擁護する事業。

令和3年8月に岡山家庭裁判所の適正審査の結果、実施が可能となり、令和4年2月から保佐人1件の選任を受け援助を開始している。

(3) 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

認知症・知的・精神障害等により、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きが難しい人に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスに関する情報提供や利用などの援助を行った。

生活支援員の資質向上のための研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県社協配信のオンライン研修を受講した。

<目標> 実利用者数 16人

<実績>

区 分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
利用実人数	6	0	3	0	4	13	14
利用契約終了者	2	0	1	0	2	5	2
支援員数	3	1	1	1	2	8	9

(4) 高梁市生活あんしんサポートセンター事業【市受託事業】

経済的問題、健康問題、家庭問題等様々な問題を抱えている生活困窮者の相談に応じ、必要な支援を行った。

①自立相談支援事業

相談者が抱える課題を把握し、他制度・他機関へのつながりを含めて自立に向けた計画を立て、継続的に支援を行った。

区 分	本年度	前年度
新規相談件数	82	125
支援プラン策定件数	6 (再プラン6)	12 (再プラン8)

支援実施延べ回数 1,030回

電話	訪問 同行	面談	所内 会議	プラン	評価	他機関 と会議	他機関と 電話・協議	その他
441	44	256	0	6	7	17	103	156

②家計改善支援事業

相談者とともに家計の状況を確認し、生活の再生に向けた計画を立て、必要な情報提供や助言・指導等を行うことにより、相談者が自ら家計を管理できるよう支援した。

区 分	本年度	前年度
新規相談件数	80	108
支援プラン策定件数	3 (再プラン3)	11 (再プラン8)

支援実施延べ回数 313回

電話	訪問 同行	面談	所内 会議	プラン	評価	他機関 と会議	他機関と 電話・協議	その他
76	31	128	0	3	6	5	13	51

③住居確保給付金

離職等により、住居を失った人、または失うおそれのある人に対して、就職に向けた活動をするなどを条件に家賃相当額を支給する制度。

従来の対象者に加え、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響で、休業等により上記程度の状況に陥った人も対象とされた。

この制度は、3回延長ができ最大12ヶ月間の支給が受けられる。さらに支給終了後再び困窮に陥った場合、再申請ができる。

区 分	本年度	前年度
新規相談者数	2	25
申請件数	3	27
決定件数	1	27
不支給件数	2	0
支給中止件数	3	9

(5) 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

①生活福祉資金貸付事業

民生委員児童委員と連携し、地域の生活困難者に対し、必要な資金の貸付を行い、自立更生の支援を行う事業だが、令和3年度の新規貸付は無かった。

区 分	本年度	前年度
新規貸付件数	0	1
償還済件数	4	0
貸付中件数	3	7

②特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響で減収及び失業された人へ無利子、保証人なしで、特例貸付（緊急小口資金及び総合支援資金）を行った。

○緊急小口資金

区 分	本年度	前年度	総 計
貸付件数	65	262	327
貸付金額	13,000,000	51,340,000	64,340,000

○総合支援資金

区 分	本年度	前年度	総 計
貸付件数	74	145	219
貸付金額	35,050,000	71,220,000	106,270,000

○延長貸付

区 分	本年度	前年度	総 計
貸付件数	21	59	80
貸付金額	10,650,000	30,810,000	41,460,000

○再貸付

区 分	本年度	前年度	総 計
貸付件数	48	51	99
貸付金額	23,550,000	26,800,000	50,350,000

(6) 福祉資金貸付事業

独自財源による事業。地域の生活困難者に対し、必要な資金の貸付（無利息）を行い自立更生の支援を行った。特に令和3年度は、ライフラインに関する資金（電気代、車の燃料代等）の緊急対応貸付が多かった。

区 分	本年度	前年度
新規貸付件数	10	9
償還済件数	9	6
貸付中件数	8	7

介護保険事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により国、県、市の指導に基づき、感染防止対策を講じた上で事業を実施した。また、各事業所では、利用者、従事者に対して感染予防に努めながら継続的にサービスを提供した。

1 居宅介護支援事業

予算額 44,520千円

執行額 43,844,545円 執行率 98.5%

要介護者が可能な限りその居宅において、有する能力に応じた生活を営むことができるように、居宅サービス計画を作成し、各サービス事業所等と連絡調整し支援を行った。また、更新研修や専門研修を受講し職員の資質向上に努めた。

令和3年4月1日より居宅介護支援事業所たかはし西として事業を開始した。

①指定居宅介護支援

②更新認定調査

③介護予防支援

区分		たかはし	たかはし西	本年度	前年度
要介護支援	実人数	60	195	255	303
	延人数	546	1,858	2,404	2,781
介護予防支援	実人数	13	20	33	36
	延人数	122	214	336	325
利用延人数計		668	2,072	2,740	3,106
介護認定調査	延人数	0	33	33	34

2 訪問介護事業

予算額 42,776千円

執行額 40,791,746円 執行率 95.4%

訪問介護員が居宅を訪問し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるようサービスの提供を行った。また訪問介護職員の専門性を高めるために、研修会を毎月開催した。

川上支所に設置した西サテライトから成羽、川上、備中地域へサービス提供を行い効率的な運営に努めた。

①指定訪問介護

②障害者総合支援

③移動支援

区 分		本年度	前年度
訪問介護	実人数	118	122
	延人数	6,200	6,092
障害者総合支援	実人数	20	17
	延人数	1,012	1,028
移動支援	実人数	0	0
	延人数	0	0
利用延人数計		7,212	7,120

3 通所介護事業

予算額 63,309千円

執行額 62,127,856円 執行率 98.1%

要介護状態になっても居宅において、自立した日常生活が送れるよう生活機能の維持・向上を目指し、機能訓練等のサービスを提供した。

①地域密着型川上デイサービスセンターの運営

②通常規模型備中デイサービスセンターの運営

③川上デイサービスセンター、備中デイサービスセンター指定管理施設の管理運営

区 分		川上	備中	本年度	前年度
定 員		18	30	48	48
開所日(週)		5	5		
開所日数		239	241	480	486
通所介護	実人数	32	71	103	113
	延人数	2,359	4,337	6,696	6,747
障害者実人数		0	2	2	2
障害者延人数		0	81	81	58
利用延人数計		2,359	4,418	6,777	6,805

4 介護予防・日常生活支援総合事業

予算額 21,123千円

執行額 20,386,697円 執行率 96.5%

65歳以上の人で要支援及びチェックリストにより事業対象者となった人に対し、地域の実情に応じた多様なサービスを充実することにより、その人の状況にあった適切なサービスが効果的に提供されるよう支援した。

(1) 総合事業ケアマネジメント【市受託事業】

可能なかぎり自立した生活が送れるよう支援計画を作成した。

区分	たかはし	たかはし西	本年度	前年度
利用実人数	2	11	13	11
利用延人数	15	78	93	87

(2) 総合事業ホームヘルプサービス

訪問介護員が身体介護や掃除、洗濯、調理等の生活援助を行った。

区分	本年度	前年度
利用実人数	59	61
利用延人数	2,670	2,473

(3) ミニホームヘルプサービス【市受託事業】

訪問介護員が日常生活上の支援を行う事業だが、利用者は無かった。

区分	本年度	前年度
利用実人数	0	1
利用延人数	0	31

(4) 総合事業デイサービス

デイサービスセンターにおいて食事や入浴、健康管理、機能訓練やレクリエーション等のサービスを提供した。

区分	川上	備中	本年度	前年度
利用実人数	14	20	34	49
利用延人数	730	848	1,578	1,649

(5) 総合事業ミニデイサービス【市受託事業】

ミニデイサービスを活用し、介護予防のための運動やレクリエーションを行った。

区分	本年度	前年度
利用実人数	21	17
利用延人数	88	70

5 地域支援事業【市受託事業】

予算額 2,188千円

執行額 2,134,000円 執行率 97.5%

令和3年4月1日より巨瀬町、中井町、有漢町区域の在宅介護支援センターとして、一人暮らし高齢者や高齢者世帯を訪問し情報提供や助言を行い自立支援・重度化予防を行った。

区 分	本年度
総合相談実人数	52
総合相談延人数	84
実態把握実人数	37
実態把握延人数	52

6 認知症対応型共同生活介護事業

予算額 37,863千円

執行額 37,368,128円 執行率 98.7%

認知症状態にある利用者に対し共同生活を営む住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活や機能訓練等の必要な援助を行った。

(ささゆり苑／定員9人)

区 分	本年度	前年度
定 員	9	9
利用実人員	11	11
利用者延数	3,221	3,259
利 用 率	98.1%	99.2%

公益事業

1 シルバー人材センター事業

予算額 79,434千円

執行額 77,851,485円 執行率 98.0%

高齢者の豊かな知識・経験・技術を活用した就業機会の提供及び生きがいと社会参加を促進した。また、広報を強化し、会員確保に努め、適切なサービスを提供した。

<目標>会員数 247人 延受注件数 1,837件

延就労人員 15,611人

<実績>

区分	高梁	有漢	成羽	川上	備中	本年度	前年度
会員数	86	20	43	44	35	228	239
延受注件数	909	106	277	147	73	1,512	1,568
延就労人員	5,450	854	1,419	3,486	2,160	13,369	13,626

○ 講習会の開催等

技能講習会(チェーンソー及び刈払機 11月、剪定1月)を開催し、定員を上回る参加者となった。また、無事故無違反チャレンジ200日に参加し交通安全への意識を高めた。

2 総合福祉センター事業

予算額 20,686千円

執行額 19,543,725円 執行率 94.5%

(1) 高梁総合福祉センターおよび成羽福祉センターの管理運営

高齢者や身体障害者、福祉団体やボランティア団体の活動拠点施設として、また、市民の教養の場として、福祉センターの貸館を行った。

コロナ禍のため、福祉センターの休館や利用制限を一時設けた。

区分	高梁	成羽	本年度	前年度
利用件数	723	246	969	993
延利用者数	7,280	3,736	11,016	12,088
利用料収入	649,610円	478,045円	1,127,655円	1,419,125円

(2) 総合福祉センター管理運営委員会の開催

施設の維持や適切な管理運営を図るため、管理運営委員会を開催した。

・令和4年2月4日(金) / 高梁総合福祉センター / 出席委員10人

1. 理事会、評議員会等の各種会議の開催状況

(1) 正副会長会

第1回	令和3年	5月20日	書面決議	同意役員：3人
第2回	令和3年	12月8日	高梁総合福祉センター	出席役員：2人
第3回	令和4年	3月1日	高梁総合福祉センター	出席役員：2人

(2) 理事会

第1回	令和3年	6月4日	書面決議	同意役員：13人
第2回	令和3年	6月21日	高梁総合福祉センター	出席役員：14人
第3回	令和3年	12月15日	高梁総合福祉センター	出席役員：12人
第4回	令和4年	3月9日	高梁総合福祉センター	出席役員：11人
第5回	令和4年	3月23日	高梁総合福祉センター	出席役員：12人

(3) 評議員会

第1回	令和3年	6月21日	高梁総合福祉センター	出席評議員：22人
第2回	令和4年	3月23日	高梁総合福祉センター	出席評議員：20人

(4) 委員会

・総務企画委員会

第1回	令和3年	11月29日	高梁総合福祉センター	出席委員：16人
第2回	令和4年	2月21日	高梁総合福祉センター	出席委員：12人

・社会福祉委員会

第1回	令和3年	11月29日	高梁総合福祉センター	出席委員：14人
第2回	令和4年	2月21日	高梁総合福祉センター	出席委員：15人

・評議員選任・解任委員会

第1回	令和3年	4月20日	高梁総合福祉センター	出席委員：3人
-----	------	-------	------------	---------

・表彰選考委員会

第1回	令和3年	6月1日	書面決議	同意委員：6人
第2回	令和3年	9月22日	高梁総合福祉センター	出席委員：5人

・苦情解決第三者委員会

第1回	令和3年	10月5日	高梁総合福祉センター	出席委員：3人
-----	------	-------	------------	---------

(5) 支会会議

・高梁支会

第1回 令和3年 7月26日 高梁総合福祉センター 出席委員：11人

・有漢支会

第1回 令和3年 6月24日 有漢保健センター 出席委員：6人

第2回 令和4年 3月17日 有漢保健センター 出席委員：6人

・成羽支会

第1回 令和3年 6月30日 成羽福祉センター 出席委員：5人

第2回 令和4年 3月24日 成羽福祉センター 出席委員：5人

・川上支会

第1回 令和3年 7月 6日 川上保健センター 出席委員：4人

第2回 令和4年 3月14日 川上保健センター 出席委員：5人

・備中支会

第1回 令和3年 6月25日 長谷センターハウス 出席委員：5人

第2回 令和4年 3月15日 長谷センターハウス 出席委員：4人

2. 監事による監査

第1回 令和3年 5月13日 高梁総合福祉センター 出席監事：2人

第2回 令和3年11月15日 高梁総合福祉センター 出席監事：2人

3. 職員の資質向上のための研修の実施状況

(1) 計画的な職員研修

①外部研修

・社協職員新任研修 参加者：2人

期日：令和3年4月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・福祉職員キャリアパス研修（初任者コース） 参加者：6人

期日：令和3年7月（2日間）

会場：高梁総合福祉センター（オンライン研修）

・福祉職員キャリアパス研修（中堅職員コース） 参加者：1人

期日：令和3年8月（2日間）

会場：高梁総合福祉センター（オンライン研修）

- ・福祉職員キャリアパス研修（チームリーダーコース） 参加者：5人
期日：令和3年9月（2日間）
会場：高梁総合福祉センター、川上支所、備中支所（オンライン研修）
- ・人事労務管理研修 参加者：1人
期日：令和3年12月（1日間）
会場：高梁総合福祉センター（オンライン研修）
- ・キャリアパスを活かした人材マネジメント研修 参加者：5人
期日：令和4年2月（2日間）
会場：高梁総合福祉センター、備中支所（オンライン研修）

②内部研修

- ・内部研修会（護身術について） 参加者：37人
期日：令和4年3月10日、11日
会場：高梁総合福祉センター